

石 森 延 男 著

東京市神田區神保町三丁目一九
大阪市住吉區北田邊町三〇六

横 山 書 店

幼な子へのお話

四六版二百五十頁
色刷美術挿繪八葉
裝 禎 瀟 洒

Y. 1.60

お母さんや幼児の先生方は、お子さんたちから、お話をせがまれないでせうか。お話がなくなつてお困りにならないかしら。そんな時には、どうすればいいのか、どうすればお話が作れるやうになるのか。この本は、そのことについてわかりやすく丁寧に書いてあるそれは美しい手引書であります。

推薦の言葉

倉橋惣三先生

お母さんにお話をきかせていただくことは、子どもの大きな幸福である。しかもその幸福は、お母さんの方に、もつと大きいかもしれない。この幸福に氣がねしてゐるお母さんが必ずしも少くない。「お話をしらないから。」そんなことに氣おくれしては、わが子の求める幸福を與へかねたり自分の幸福を我ごうけかねたりしてゐる。「お話なんてそんなにむづかしいものではありませんよ。」といひながら、にこやかに相談相手にならうとしてゐるのがこの本である。本書が、お母さん方の幸福を増すことを疑はないと共に、幼児の先生にも、姉さんにも、ぜひ薦めたいと思ふのは私ばかりではあるまい。